

## 都市計画審議会議事録【概要版】

日 時：令和7年3月12日（水）午後2時00分～午後3時05分

場 所：宇治田原町役場1階 101・102会議室

出席委員：10名中9名出席

（小川委員(会長)、浅田委員、上野委員、西山委員、原田議員  
光島委員、山内委員、永野委員、田村委員

傍 聴 者：3名（その他記者2名）

(主な内容)

議 事：(1) 都市計画道路の変更（原案）に係る説明及び説明会の報告等について

- ・都市計画道路宇治田原中央線、宇治田原山手線、宇治田原工業団地線の変更内容、説明会の報告及び今後の手続き等について説明。

(質疑内容及び回答主旨)

○宇治田原工業団地線が元々の計画よりも平地を通ることになるが、道路勾配は緩やかになるのか。

【回答】

- ・平面交差の時は勾配が約10%であったが、立体交差にすることにより約7%と緩やかになる。

○立川（大道寺）からの小学生の通学路は、立体交差になることによりどうなるのか。

【回答】

- ・立体交差の下を通り抜け、横断歩道を渡って行かれる形となる。

○先程の説明と本来の通学路では経路が違うがどうなのか。

【回答】

- ・真っすぐの方が信号もあり安全かと思う。完成時にPTAを含めて通学路の協議をいただき、どちらが安全かを見て、決めていただければと考える。

○両側の道に歩道は付くのか。工業団地との交差点に信号は付くのか。

【回答】

- ・歩道は立体部には付かないが、両側の道の外側片側に付きます。信号については通過台数を踏まえての判断になるかと思えます。

そ の 他：宇治田原都市計画下水道の変更に係る概要説明について

- ・流域編入に係る事業概要及び都市計画決定の変更内容、今後の流れを説明。(質疑内容及び回答主旨)

○流域下水への接続は国道307号ではなく、工事中の東部丘陵線に布設した方が工事費を安くできると思うがどうなのか。

**【回答】**

- ・ 東部丘陵線と国道 307 号とは高低差があり、東部丘陵線に布設するとポンプ施設が必要となる。施設を設けると維持費が掛かることから、長期的に考えると国道 307 号の方が経済的かと考えている。

以上